

作新学院高等学校 情報科学部だより

平成 28 年 12 月 22 日発行

No.6

2年生 修学旅行（沖縄）



2年生（396名）は、11月20日から23日まで、3泊4日の日程で沖縄へ修学旅行を実施しました。沖縄は、東南アジアと中国・台湾を結ぶ海上輸送の要点であり、かつての琉球王国時代から歴史的にも文化や経済の交流が盛んな土地でした。軍事的にも重要な場所であったことから、わが国で唯一の地上戦の場となりました。第1日目は、最後の激戦地となった摩文仁の丘にある平和祈念公園を訪ね栃木の塔、平和の礎の前で献花を行い慰靈者への追悼を行いました。続けてひめゆり資料館では、当時の貴重な資料で知る生きた平和学習ができました。2日目と3日目のクラス別行動や体験学習では、マリンスポーツやカヌー体験、船釣り、沖縄の文化体験など楽しい体験を通して、沖縄の風光明媚な自然環境の中で友人との交流を深めました。最終日は、世界遺産で知られる首里城を見学し、異国情緒あふれる極彩色の空間で記念撮影をしました。南国の風土を肌で感じることができ、貴重な思い出深い旅となりました。

2年生 美術デザイン科研修旅行（瀬戸内海）



今年の美術デザイン科の研修旅行は、瀬戸内海の直島を中心とした地域で実施されました。この地域は、2010年から開催されている「瀬戸内国際芸術祭」の舞台です。「瀬戸内国際芸術祭」は、島々の人口減少、高齢化、地域活力の低下によって、島の固有性が失われつつあるという問題を「芸術」の力で取り戻し、瀬戸内海が世界の『希望の海』となることを目指して始められました。初日、四国の大塚国際美術館は陶板で世界の名画を原寸大で緻密に再現しています。驚いたのは絵の具の質感ばかりか、壁画の岩肌や割れ具合まで再現してあるこだわりようです。シティーナ礼拝堂のミケランジェロの作品は圧巻であり、見応えがありました。2日目、3日目の「豊島（てじま）」と「直島」は豊島美術館・横尾館・ベネッセミュージアム・地中美術館・李禹煥美術館を中心に現代の作家たちによる斬新な作品を鑑賞しました。作家は日本人より外国人の方が多く、現代アートへの関心の高さと国際化を実感しました。アートも様々で草間彌生や横尾忠則の奇抜な作品から、李禹煥の「もの派」の作品まであり、興味深い作品が点在しているので、全く飽きない楽しい空間でした。最終日は倉敷の有名な大原美術館・倉敷美観地区、国宝で世界遺産の姫路城を見学しました。また行ってみたくなる修学旅行でした。

3年生

「くらしのセミナー」「ビジネスマナー講習会」を実施



11月24日、情報科学部の3年生を対象とした「くらしのセミナー」（講師・栃木県県民生活部くらし安全課 松野祐子様、消費生活センター 村田裕子様）と「ビジネスマナー講習会」（講師・野崎千晶様）を実施しました。生徒達は、消費生活に関する基礎的な知識や悪徳商法の被害状況、新社会人として必要なことを学ぶことができました。

1・3年生 「裁判員制度説明会」を実施



11月21日、宇都宮地方裁判所の横山寛裁判官にご来校していただき、情報科学部1・3年生を対象に「裁判員制度説明会」を実施しました。生徒達は「裁判とは何か」「民事裁判と刑事裁判の違い」「裁判員制度」など裁判について理解を深めることができました。またクイズで多く正解した生徒は裁判官の法服を着させてもらいました。「法服にいろいろな意味が込められているのを知らなかった」などの感想があり、貴重な体験ができました。

吹奏楽部芸術鑑賞会



11月25日（金）、栃木県総合文化センターメインホールにおいて、情報科学部全学年を対象に本校吹奏楽部による「芸術鑑賞会」が開催されました。洗練された演奏を本格的な大ホールで鑑賞し、ライオンキングなど楽しい演出で豊かな時間を過ごし、感性を磨く機会を得られました。